

第10回 石狩市地域防災計画・水防計画改訂検討委員会【要点筆記】

日 時：平成25年3月8日（金）15：00～16：00

場 所：石狩市役所4階 401・402会議室

出席者：次のとおり

委 員					
役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
委員長	加賀屋 誠一	○	委員	熊谷 雅之	×
委員	竹口 尊	○	委員	藤山 和弘	×
委員	菊池 政幸	○	委員	藤巻 信三	×
委員	石川 國弘	○	委員	五十嵐 正勝	○
委員	東 重孝	○	委員	有馬 信	○
委員	千葉 則理	○	委員	米澤 哲	×
委員	覚知 邦夫	×	委員	小沼 陽子	×
委員	古泉 利雄	○	委員	羽田 美智代	○
委員	山田 義晴	○	委員	荒川 よし子	○
委員	酒井 志津子	○			
事務局	所 属		氏 名		
	総務課危機管理担当課長		市園 博行		
	総務課危機管理担当主査		山口 恒心		
	総務課危機管理担当主任		笠井 剛		
本計画改訂業務委託契約先		株式会社ドーコン 3名			

傍聴者：8名

1. 開会

2. 委員長挨拶

【加賀屋委員長】

- ・今日が最後の検討委員会になるが、最終的に「地域防災計画」がまとめられた。皆さんと最後の議論をしていきたい。
- ・先週の大吹雪は石狩市も大変だったようであるが、道東では亡くなられた方も発生し、痛ましい災害だったと思う。このように、災害は、いつ、どこで、どういふかたちで発生するかわからないと改めて認識した。今後は、地域防災計画の考えを基にして、日頃から市民の皆さんに安心安全の考え方が根付いていけば、様々なかたちでの災害対策ができると思う。

3. 前回議事録の確認

(1) 前回議事の概要

【事務局：(株)ドーコン】

- ・「第9回検討委員会議事録」を配布し、議事内容や各委員の発言等についての確認を行った。

4. 石狩市地域防災計画（案）について

(1) 市民意見（パブリックコメント）検討結果

- ・事務局より、資料「石狩市地域防災計画・石狩市水防計画の改訂素案に寄せられた意見と検討結果について」に基づき、寄せられた意見の反映状況等を説明。
パブリックコメントの検討結果について了承を得る。

(2) 検討委員会意見検討結果

- ・事務局より、資料「石狩市地域防災計画・石狩市水防計画改訂検討委員会の意見と検討結果」に基づき、前回本委員会における意見に対する検討結果を説明。
検討結果について了承を得る。

5. 検討委員会付帯意見について

- ・事務局（ドーコン）より、付帯意見について説明。
付帯意見について了承を得る。

6. 委員長挨拶

【加賀谷委員長】

- ・これまで10回にわたる検討委員会で、皆さんから活発な意見を出して頂いた。この計画は皆さんの意見が反映された、市民の皆さんの手づくりあげた計画だと思う。
- ・通常の防災計画であれば、ある程度、行政側で作成するやり方がオーソドックスであるが、私は市民参加型・ガバナンス型の新しい手順で、計画をつくりあげていくことが大事だと考える。これまで10回の検討委員会や各地区のワーキンググループを行い、密度の濃い議論からこの計画をまとめられたのだと思う。市民参加型・ガバナンス型の新しい手順を、計画策定の中に入れたことが、大きく評価できる1つ目のポイントだと思う。
- ・また、この計画のコンセプトは、「災害に強いまちづくり・人づくり」に向けた『自助』『共助』『公助』である。市民の手で、どの程度まで安心・安全なまちづくりをしていけるかが課題だったが、市民活動や行動が防災に果たす役割をきちんと明示したことがポイントだと思う。それにより、市民も責任をもって、災害に強いまちづくり・人づくりをしていかなければならないことは大事な考え方である。提言から計画策定の取組みは、全国的にも注目されており、他の地域よりも先行して、行動に結びつく計画を作成したことは非常に大切であり、今後も大事にしてほしい。これが第2のポイント。
- ・最後に、人づくりやコミュニティづくり、まちづくりといった広い視点で計画を作成したことがポイントとして挙げられる。住民の日常的な取組みの重要性のほか、自主防災組織の充実、幅広い防災教育、情報の適切な活用が、特に計画に反映されている。これからも利用できる広い可能性を持った計画だと思う。この計画にはこれら3つの特徴があると捉えている。
- ・そして、この計画をどのように活用していけるかが、今後の命題だと思う。行動に結びつく計画を作成したとしても、実体験はなかなかできないため、往々にして、計画を作成して終わってしまうことがあると思う。そのため、実践的な避難訓練の実施や、防災教育を実現していくことが大事である。今後も、防災の知識や知恵を忘れないような取組みを、市民の皆さんや市が、共に考えていく取組みを続けてほしい。
- ・また、防災ガイドも計画を端的にまとめられているので大切にしてほしい。これを活用して、一般の市民の方に広く話をして、よく読んでほしい。そして、1回だけ見て終わるのではなく、

繰り返し見てほしい。これを教材にして、ぜひとも家族で話題にして、さらに枠を広げて、近隣で話し合いの場などを作ってほしい。そうすることで、我々が作成した防災計画が生きてくると思う。ぜひとも皆さんが自主防災組織のリーダーとなって役割を担い、色々な活動を展開して行ってほしい。

- ・この検討の中で、皆さんの様々な考え方や意見を聞いて勉強させて頂いたことは、私の成果だと思っている。長い間ありがとうございました。

【委員質問】

- ・今後の流れや防災会議などの予定はどうなるのか。
- ・1年かけて様々な資料を頂いたが、これらの資料は特に制限なく使用して良いか。

【事務局回答】

- ・今後、防災会議の会長である市長に加賀谷先生から、付帯意見を添えて「石狩市地域防災計画（案）」を提出して頂くことになる。今年度中に防災会議に諮り、最終的な計画が確定する。その後、道に報告した後、来年度に市民の皆さんに公表することになる予定である。
- ・これまでに配布した資料はホームページでも全て公開している。ぜひとも色々な場面で活用して頂き、地域で防災の意識を高めて行ってほしい。

7. 閉会

【事務局】

- ・この後、市長に石狩市地域防災計画（案）の提出を行う。

平成25年4月4日 議事録確定

石狩市地域防災計画・水防計画改訂検討委員会

委員長 加賀屋 誠一